



理工学部の学生国際交流組織「STEPs」が タイ・チェンマイ大学で海外研修を実施

【概要】

理工学部長表彰受賞者で構成される国際交流組織「STEPs」の学生が、2025年10月25日から30日にかけて、タイのチェンマイにおいて海外研修を実施しました。本研修では、チェンマイ大学工学部および建築学部の訪問、市役所での懇談、歴史的市街地の視察などを通じて、国際的な視野の育成と文化理解の深化を図りました。大学・行政・地域の多様な主体との交流を通じて、学生にとって将来の留学や国際的な学びへつながる貴重な経験となりました。

【本文】

理工学部長表彰受賞者で構成される学生国際交流組織「STEPs」に所属する学生7名が、都市工学部門の三島 伸雄 教授、小島 昌一 教授、三島 悠一郎 准教授とともに、2025年10月25日から30日にかけて、タイ北部のチェンマイで海外研修を実施しました。本プログラムは、将来の留学につながる国際的な視野を育成するとともに、日頃の語学学習の成果を実際の環境で試す機会を提供することを目的としています。チェンマイ市は、城郭に囲まれた旧市街に歴史的な町並みが残る都市で、周囲を山々に囲まれた盆地に位置しています。内陸にありながら低平地性の特徴を有し、東南アジアの都市発展や歴史的景観保全を学ぶ上で重要な事例となっています。

研修では、チェンマイ大学工学部および建築学部を訪問し、Chatchawan Chaichana 副学部長をはじめとする教員の皆様と面会しました。大学側との懇談では、学術交流の拡大に向けた意見交換を行い、STEPsの学生も理工学部の紹介を担当しました。研究室や教育施設の見学を通して、都市計画、建築、地域デザインなどに関する現地の研究・教育の取り組みを学ぶことができました。また、理工学研究科建築環境デザインコースの大学院生2名が同建築学部に長期滞在していることもあり、学生同士の意見交換も活発に行われました。

市役所訪問では、チェンマイ市の Photochana Srisenlapanan 副市長と懇談し、都市施策や地域課題について意見交換を行いました。副市長からは、大学の取り組みが地域の課題解決に寄与していること、今後も積極的に連携を進めていきたい旨の発言をいただきました。本訪問は、行政との対話を通じて、都市計画や公共政策が地域にどのように反映されていくのかを理解するうえで、非常に貴重な学びの機会となりました。

現地視察では、歴史的町並みの保存や地域コミュニティと連携した都市計画の取り組みを学ぶため、旧市街や活性化プロジェクトの現場を訪れました。また、博物館の見学を通してチェンマイの文化・歴史を理解し、都市の成り立ちや現在の課題を多角的に捉える視点を養いました。

佐賀大学とチェンマイ大学は、都市工学部門の三島 伸雄 教授・小島 昌一 教授を中心に、戦略的パートナーシッププロジェクトを軸に交流を積み重ねています。鹿島市肥前浜地区との共同プロジェクトや、2025年4月にスタートしたサンドイッチプログラムなど、教育・研究の両面で連携が進んでいます。今回の研修は、こうした交流を基盤として実現したものであり、学生にとって国際的な学びを深める大きな一歩となりました。

STEPs の海外研修は毎年 1 回の実施を目指しており、今回のチェンマイでの経験が、学生たちの将来の留学や研究活動、さらには国際的なキャリア形成につながっていくことが期待されます。今後も継続的な交流を重ねることで、佐賀大学とチェンマイ大学の学術ネットワークが一層深化していくことが期待されます。



工学部表敬訪問の様子



研究室訪問の様子



学生間交流の状況



ターペー門前にて記念撮影



市役所訪問の記念撮影